

## wa to sekai

～海外とつながる観光案内所～

ここ近年  
日本を観光立国にしようとする  
動きが活発になり、海外からも観光客が  
多く訪れています。

そこで私は  
「観光案内所」に注目しました。  
観光案内所とは一体  
どのような場所でしょうか?

それは  
「国を超えて、多くの人々が集まる場所」です。

私は、観光案内所を単に  
「情報を提供する場」としてだけではなく

言葉の壁を超えて  
人々のつながり=「和」を生む  
「交流の場」として活用したい  
と考えました。



ターゲット：  
国内外における、個人旅行者  
(タブレット、スマートフォン  
を所持する、20代～30代中心)

設置場所：  
各観光地の主要駅構内  
又は、空港内(例：広島駅)

テーマカラー

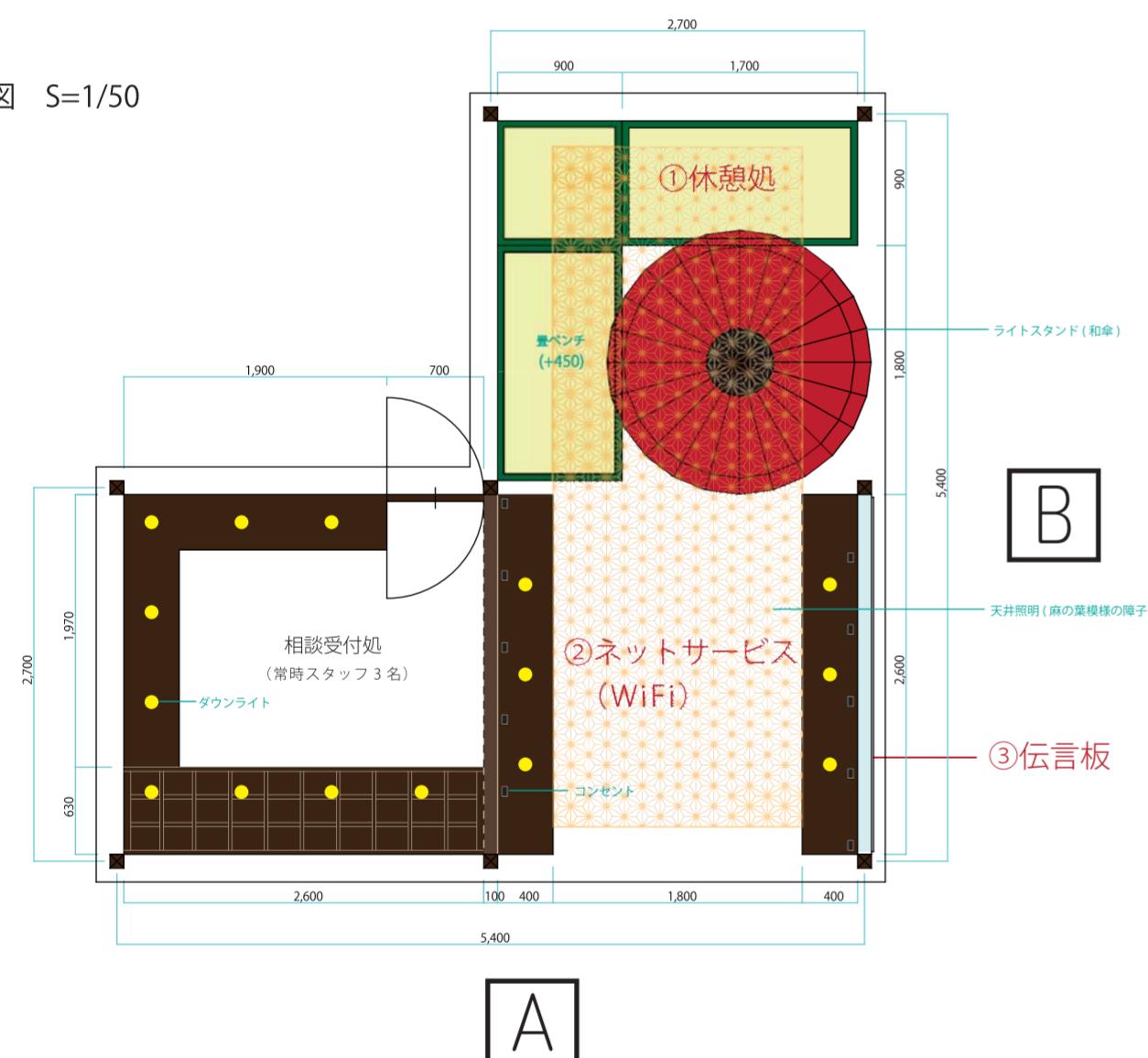


茜



黒鳩

平面図 S=1/50



## 3 POINT

## 1 「めんこ」が体験できる休憩処



昔ながらの駄菓子屋や、団子屋をイメージした空間。「めんこ」体験ができる。柱に遊び方説明の巻物を下げておき、スタッフが定期的に一緒に遊ぶ。また、受付処から休憩処の様子が見え、すぐ行き来ができる。めんこは、古紙で生産したものと、浮世絵からアニメキャラクターまで種類豊富に取り揃え、受付処で自由に選べる。めんこで遊ぶことで、観光客同士の距離が近くなり、交流が生まれる。

めんこはそのまま持って観光に出掛け、帰る時、めんこの裏にメッセージを書き、元の案内所もしくは同じ系列の案内所の伝言板にはさむ。めんこを持ち帰りたい方には、もう1枚渡す。

- ◆ ベンチは畳になっており、フラットでどこからでも座れる。
- ◆ 優雅な空間の仕切りになる。



## 2 情報を手軽に、ネットサービス



外国人観光客からのニーズが極めて高い、公衆無料無線LANを完備。コンセントを配置し、タブレットやPCの持ち込みを可能に。観光情報や地図、時刻表をダウンロードすることもできる。

また、受付処側の壁は抜けており、質問、相談等があれば直接聞くことができる。

- ◆ 立って利用することで、導線もスムーズ。

## 3 国・言語を超えた、伝言板

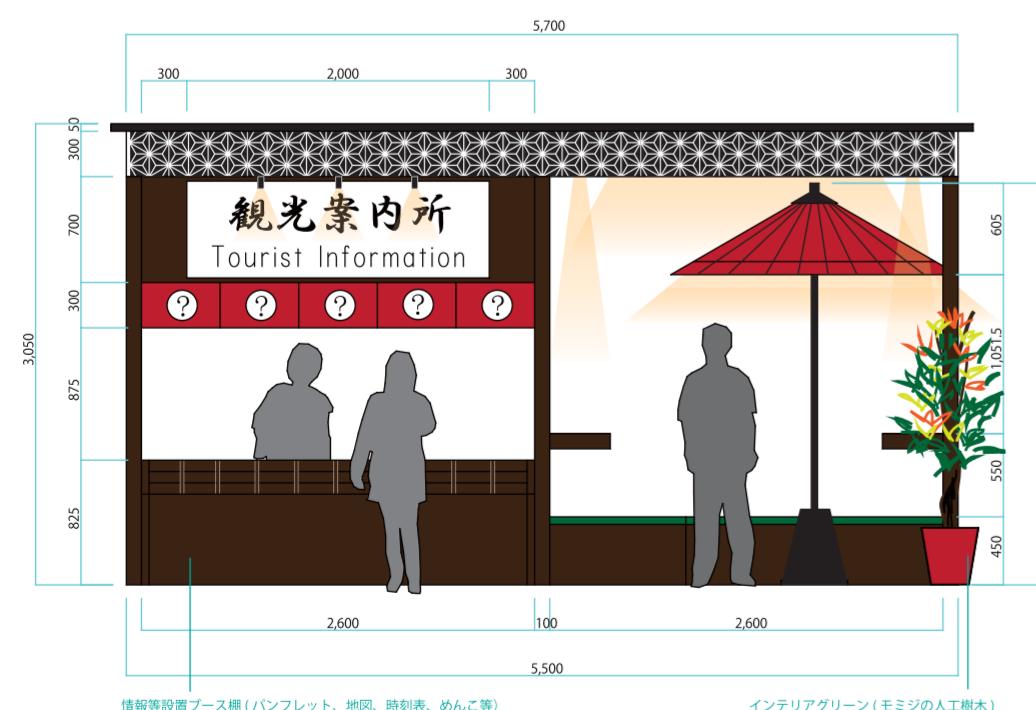


外壁の一部を、伝言板として活用。「めんこ」の裏に、クチコミやメッセージを母国語で書き残せる。外国人観光客でも気軽に書け、のちに訪れる外国人観光客にとっても、自身の母国語で書かれたメッセージには安心感がある。母国語でない人にとっても、意味を知りたいという興味を喚起し、相互理解へのきっかけになる。

また、伝言板の壁は透明ガラスで、内部からめんこの表が見えるため、メッセージが増えると壁一面がめんこで覆われる。一杯になれば半分ほど残して回収し、内容をフリーペーパーにして配布。

- ◆ 帰りにめんこをはさんでいくだけなので、簡単で混雑しない。
- ◆ 伝言板付近に筆記用具等は置かないが、使いたい人は受付処で筆ペンを借りることができる。

立面図 A S=1/50



立面図 B S=1/50

組子の天井照明  
～麻の葉～

天井内部に間接照明を仕込むことで、麻の葉模様の組子細工から柔らかな光が落ちる。

「麻の葉」は、「魔除け」の紋様として伝わる、日本の伝統模様の一つ。

旅の安心と充実を願って。

## エレメントリスト

構造材：スギ

天井：珪藻土壁紙（白練色）

壁：焼杉（水生塗料）

家具等：畳ベンチ、和傘（ライトスタンド）、

ネットカウンター、受付カウンター、

情報等設置ブース棚、インテリアグ

リーン、のれん

## 概算予算

およそ 600 円